



News 5月号 News 5月号

麻布M&Aセンター・株式会社叶光 (ToKo)

飯島総合会計事務所

発行人/飯島 一郎 今月編集者/飯島 一郎

〒106-0046 東京都港区元麻布3-2-19-4F

Tel : 03-5775-1631 Fax : 03-5775-1632

URL : <http://www.is-tax.co.jp/>

☆コロナショック緊急報告☆

事業再生プロコンサルタントの松本光輝氏は新型コロナウイルスの社会経済に与える影響について次のように述べています。

世界的な終息にはかなりの時間がかかり、その間に多くの会社の廃業・倒産が予想される。政府としてもすべての会社を助けることはできず、当然、生き残れる会社と生き残れない会社の選別がされることになるとのこと。

松本氏が多くの会社に指導している内容は下記のとおりです。(原文そのまま)

- ① コロナショックの影響は2年間続くとみて生き残る方法を考える
 - ② 廃業するなら先延ばしにをして赤字を積み上げずに、早く廃業して収まったら再度立ち上げる。
 - ③ 自分の会社を売れないかを考える
 - ④ 廃業した時の借金を圧縮することを考える
 - ⑤ 売上が半分になるという前提で計画書と資金繰り表を作り直す
 - ⑥ 人件費を含めた経費全部を「費用対効果」で見直す
 - ⑦ 利益の高く取れる商品・サービスを考える
 - ⑧ 税金、社会保険料、買掛金、手形、リース料、カード代金等の支払いは待ってもらえ！
 - ⑨ 身の周りで廃業する会社があれば積極的に引き継ぎなさい
 - ⑩ 今は資金を借りるだけ借りろ！返済できるかどうかは今考えるな
- 以上、10項目です。

かなり大胆なことを言っております。

また、自助努力と自己責任が最終的には求められるとのこと。

これは松本氏自身が、飲食業の2代目として、バブル期に焼肉店をはじめ、17店舗の年商8億円企業に拡大したものの、バブル崩壊後に25億円の負債を抱え、自己破産をせず、自ら事業再生をした経験の持ち主だからです。

私も今から10年ほど前に、松本氏の下で事業再生を数年間勉強させていただきました。

☆緊急コロナウイルス対策☆

表記のタイトルで、4/17より Toko News とは別にメール、ファックスで最新のコロナ情報を配信しております。今後も常に新しい情報を皆様にお届けいたします。内容は、融資、助成金、給付金、協力金などお金が絡むものがほとんどですが、同時に感染対策、健康についても掲載していく予定です。

☆担当者へのLINEで連絡☆

私を含め担当者全員、お客様と常に連絡が取れるよう、業務用のLINEを取得しました。別紙のQRコードを読み取り、私や各担当者宛に申請してください。(再度、送らせていただきます)

☆コラム(飯島のつぶやき)☆

感謝しかありません！

これだけ毎日感染者が増え続けている中、外出自粛や自宅待機もしないで、頑張っている方々がいっぱいいます。

- ・医療関係の方、介護関係の方
- ・警察、消防、自衛隊、役所の方
- ・宅配便、郵便局やトラック等の物流関係の方
- ・公共交通機関の方
- ・スーパーやコンビニの方
- ・マスクや消毒液の工場の方

まだまだたくさんの方がいると思います。我々のために使命感をもって、捨て身で仕事をされています。

また、その方々を支える家族の方。本当なら仕事に行って欲しくないであろうに。理解と協力がなければできません。

なので、我々にできることは、

- ① 不急不要の外出をなくす
- ② 彼らに偏見、差別をしない
- ③ 総理や知事の言っていることに従う
- ④ マスク、手洗い、消毒を心がける
- ⑤ 10万円もらったらふるさと納税をする
- ⑥ 自分たちができることを考える

ではないでしょうか。

家に居たくても居られない人がいるのに、外出できなくて暇だとか、ストレスが溜まるとか言っていたらバチが当たってしまいます。

週末、家族で観光地にピクニック気分で行かないでください。外食もあきらめてください。

皆で我慢しましょう！

テレワーク

当事務所も、社員の健康と他者への思いやりを実行すべく、テレワークを実施しております。

常時、出勤している社員が10名以下になるように交代でテレワークしています。

この時期、電話がひっきりなしにかかってきており、皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますよう宜しくお願い致します。

今月の一言

『他の人に一生懸命サービスする人が、最も利益を得る人間である！』カーネル・サンダース

今回のコロナで我々のために一生懸命働いている方がどうか報われますように！ケンタッキーのおじさん、なかなか良いことを言いますね。